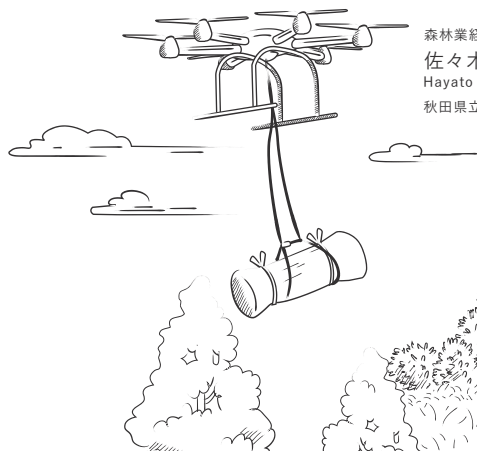




森林業経営学科
佐々木 勇斗
Hayato Sasaki
秋田県立横手清陵学院高等学校出身

山や林の可能性に注目して、
森林業の新ビジネスを
展開したい。

新大学の1期生になれること、実習と座学が同じくらいあることに惹かれました。「森林業」のフィールドは、まだまだ利用されていない可能性があると思います。特に観光や健康など従来の建材を生産することがメインの林業の枠に収まらない新ビジネスに興味を持っています。将来は森林業のビジネスを拡張して新しいカテゴリーに進出し、安定した企業を運営したいと考えています。

森林業経営学科生が描く将来像。

林 dream

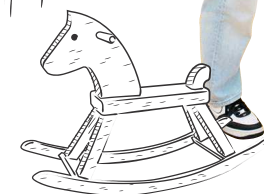
夢を夢で終わらせないリアルな学びがある。



森林業経営学科
齋藤 優大
Yudai Saito
山形県立村山産業高等学校出身

木工事業の企業経営をめざして。
いつか木の家具や玩具をつくる。

私は高校でも林業を学びましたが、大学ではより専門的で高度な内容となりました。チェーンソーなども現場に即した専門的な技術を修得できる体制になっています。キノコ類などの生産物についても学べ、森林業の可能性を感じられます。将来は木工を中心に事業展開する企業を運営したいと考えています。例えば若い方にも受け入れられる木工家具や、子どもたちのための木工玩具などです。



将来は研究職をめざしたい。
活用する。
森林資源を守り、

森林業経営学科
黒澤 成斗
Naruto Kurosawa
山口県立山口中央高等学校出身

1年生のときの実習で「マツノサイセンチュウの防除」についてお話を伺ったことが強く印象に残っています。2年生になって実習も指示を待つだけでなく、自分で判断しながらどんどん進められるようになりました。毎日忙しくなってきましたが、日々の学びは益々中身が濃くなり充実しています。将来は大学院へ進むことも視野に入れて、研究職をめざして頑張っています。

木工への興味から進学、
将来は森林を活用する事業。

森林業経営学科
工藤 遼祐
Ryousuke Kudo
宮城県田尻さくら高等学校出身

高校で木工を、さらに選べば「独学」に興味を持ったのがはじまりでした。独学の作り方を学ぶうちに、木工用の旋盤を使うようになり、他の木工製品へと興味が広がっていったのです。高校で木工品を販売するなどの活動の経験もあり、小さなビジネスとしてもおもしろさを感じました。森林が生み出す価値、可能性を学びながら、将来は木工や森林観光を活用する企業を運営してみたいですね。